

◎大芋活性化委員会の設立とその背景

- ・人口の減少、高齢化
- ・大芋保育園の廃園 (H17. 4)
- ・JA大芋支店の閉店 (H18. 4)

小規模化

コミュニティー力の低下

どうしよう？

目標

コミュニティー力を強化しよう
心豊かな共生の里をつくろう

平成17年2月18日設立

安心・安全ネットワーク

◎何をしてきた

H17. 9 県民交流広場事業

H18

高齢者支援…高齢者が集えるサロン

移送サービス

篠山市地域福祉計画の策定
大芋地区アクションプラン

提案

パソコン教室 → まちづくり通信

子どもを大切に取る取り組み…通学合宿

H19. 11 いきいきサロンの開催

H20. 3 生きがい対応型「大芋」の開設

H21. 2 大芋地域活性化フォーラム…「元気」な大芋

H21. 6 小規模集落元気作戦スタート

元気でない

H22. 9 移送サービス

H23. 2 大芋の楽農かまど着工…大芋発信のスタート

H23. 6 移送サービス 利用者増

大芋の楽農かまど完成感謝祭

かなり元気に

ＴＶ（コタロー）

劇団

H24. 1

大芋の里大体験

◎今何を

(評価と目標設定)

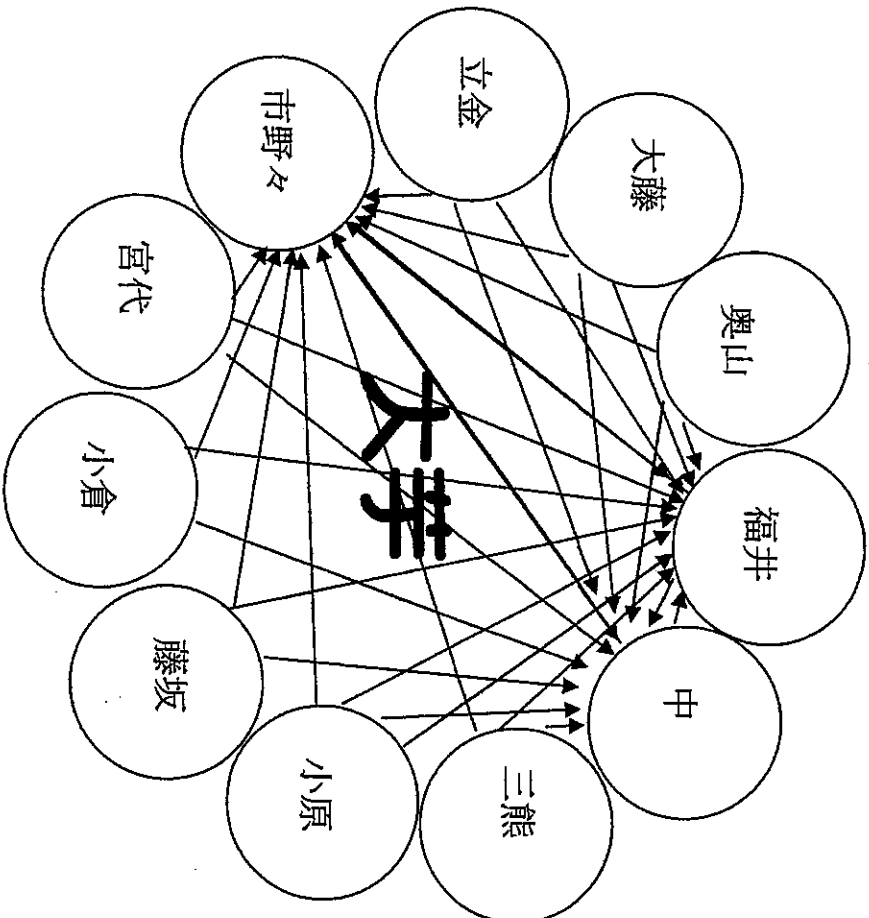
将来どうあるべきか？

その為に何をすべきか？

話のネタは「〇」ではない → 実績はできた

大芋地区 11 集落がそれぞれの特徴を生かしながら取り組みを進める。その取り組みに他の集落が応援する

- ・農産品 …… なかの里 中
- (ライフボックス)
- ・都市部の子ども …… ツリーハウス 福井
- (アエルクラフ)
- ・田舎体験 …… 大芋の楽農かまど 市野々
- ・企業の森 …… 宮代
- ・みくまりダムとピオトーナ …… 三熊



自助—互助—**共助**—公助

上の図の 11 集落の特徴ある取り組みを他の集落が応援して行く体制は共助に当たると考えられる。集落内での互助の取り組みとあわせて、地域内外での共助の体制が必要だと考えます。

